



科学におけるミスコンダクトの現状と対応策

科学者コミュニティの自律に向けて

日時 2005年 7月 4日(月) 10:00~17:00

会場 日本学術会議 講堂 (アクセス方法は裏面に記載してあります。)

定員 先着300名(参加費無料)

開催の趣旨

ねつ造、改ざん、盗用などの科学上のミスコンダクト(不正行為)が増発し、技術倫理の欠如も看過できない社会問題となっています。いま、科学者・技術者自らが、積極的にその防止に努めなければ、科学の健全な進歩も、社会が科学によせる期待に応えることも難しくなります。

本講演会は、ミスコンダクトの現状を知り、その予防策と事後処理のあり方を具体的に提言する場とするものです。

開会挨拶および開演 【10:00 - 10:30】

黒川 清(日本学術会議 会長)
- 科学者倫理と科学者コミュニティの自律

第1部 演説 【10:30 - 15:00】

日本学術会議の取り組み
わが国学会の取り組みに関する調査結果の分析
各分野におけるミスコンダクトの事例と対策

人文学におけるモノ資料の真偽
理学における事例——シェーンの事件から
医学研究における日米の事例と対応策
工業技術における事例

科学におけるミスコンダクトの概念的フレームワークと組織的審査体制

諸外国における組織的審査体制

野園生 誠(特許製品評価技術基盤機構理事長)
佐藤 学(東京大学大学院教育学研究科長)

藤本 強(国学院大学教授)
池内 了(早稲田大学教授)
角田 文男(岩手医科大学名誉教授)

Wlfrid Porth(三善ふそう社社長)

武田 隆二(大阪学院大学教授)
久保田弘敏(東海大学教授)

第2部 パネル討論 【15:10 - 16:50】

「対策、申し立ての審理と裁定の手順、組織的審査体制のありかた」

司会 野園生 誠(特許製品評価技術基盤機構理事長)
話題提供 尾関 章(朝日新聞東京本社科学医療部長)
パネリスト 佐藤 学(東京大学大学院教育学研究科長)
藤本 強(国学院大学教授)
森 美樹(名古屋大学理事・副総長)
池内 了(早稲田大学教授)
角田 文男(岩手医科大学名誉教授)

閉会挨拶 【16:50 - 17:00】

森 美樹(日本学術会議 学術と社会常務委員会 委員長、名古屋大学理事・副総長)

科学におけるミスコンダクトの現状と対応策 ～ 科学者コミュニティの自律に向けて ～

■ 日時・会場

2005年7月4日(月) 10:00 - 17:00

定員 300名

参加費無料

■ 申込み方法

はがき、FAX又はE-mailにて必要事項をご記入の上、下記あてにお申込み下さい。

【必要事項】 氏名(ふりがな)
年齢
職業
連絡先電話番号
E-mail アドレス

【あて先】 日本学術会議事務局総務部庶務課
〒106-8555 東京都港区六本木7-22-34
Tel: 03-3403-1906
Fax: 03-3403-6224
E-mail: info@scj.go.jp

定員(300名)になり次第、締め切りとさせていただきます。

(お申込みを受け付けた方につきましても、特にこちらから連絡はいたしません、申込み受付に遅れた方のみ、その旨を連絡いたします。)

なお、定員に達しない場合は、当日も受付を行いますので、直接事務局へお問い合わせ下さい。

■ 会場へのアクセス

日本学術会議 講堂
東京都港区六本木7-22-34

地下鉄千代田線「乃木坂」駅
青山公園方面(出05番)徒歩1分

